

# 編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
28-36	高等学校	国語	古典B	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教 科 書 名		
2 東書	古B 329	新編古典B		

## 1.編修の基本方針

### ①古典としての古文と漢文を読む能力を養う。

- ・古典を読む能力を養うため、長短や難易などに配慮して教材を配列しました。
- ・単元構成は、古文編・漢文編の二つに分け、高等学校の指導の実態に対応できるようにしました。
- ・2か年にわたる分割履修にも対応できるように、各編をⅠ部とⅡ部の2部構成にし、段階的に総合的な国語力を養うことができるよう配慮しました。
- ・各単元の扉には、その単元での学習の主な目標を示し、単元の性格を明らかにしました。教材末の「学習の手引き」においては、その学習が効果的に行われるような設問を示しました。

### ②思考力や想像力をのばし、豊かな感性や情緒をはぐくむとともに、古典についての理解や関心を深める。

- ・古典の多様な世界に触れ、古人のものの見方や感じ方、考え方をすることで、自己の内面を見つめ、考えを深めたり広げたりすることができるよう配慮して、古文編14単元・漢文編10単元で構成し、教材を選定しました。
- ・古典に親しみ、将来にわたって主体的に学ぶ基礎を培うことができるよう、コラムや附録などで古典の背景知識として必要な内容を解説しました。
- ・古文編Ⅰ部の最後に、「ご当地キャラクターと古典」のページを設け、郷土を愛する心の表れとしての「ご当地キャラクター」を、古典に関連させて紹介しました。
- ・古文編Ⅱ部の最後に、「古典芸能への誘い」のページを設け、我が国の伝統と文化を理解するうえで重要な古典芸能について、古典作品と関連させて紹介しました。
- ・国語の授業でなぜ漢文を古典として学ぶのか、その意味を理解する一助となるよう、漢文編Ⅰ部第一単元の最後にコラム「漢文の窓Ⅰ」として「故事成語」を設けました。
- ・言語文化の変遷についても理解を深められるように、さまざまな文種や形態の文章から幅広く教材を取り上げました。

### ③教材本文・コラム・附録などを有機的に関連させ、多様な指導ができるようにする。

- ・古文編に「言語活動」(4か所)を設け、教材本文と関連させて、古典についての理解や関心を深めることができるようにしました。
- ・古文編では「古文の窓」、漢文編では「漢文の窓」を設け、単元や教材に関連した内容について、知識を深めることができるようにしました。
- ・附録には、「品詞分類表」ほか、文語文法の基本事項をまとめたページや、「小倉百人一首」「古文重要語句」「日本古典文学史年表」「漢文句法・重要語のまとめ」「中国文学史年表」「古典参考図録」などの資料を用意し、多様な指導に対応できるようにしました。

## 2.対照表

図書の構成・内容		特に意を用いた点や特色	該当箇所
古文編 Ⅰ部	1 説話に親しむ	・個人の能力や生き方などについて考えることができる教材を用意しました。(第2号)	→10～16ページ
	2 物語を読む	・他者を思いやる心を描いた教材を用意しました。(第3号) ・古典の世界のより深い理解に資するコラムを用意しました。(第5号)	→23～25ページ →26ページ
	3 随筆を読む	・普遍的真理や処世訓などについて述べた教材を用意しました。(第1号)	→28～35ページ
	4 和歌の世界	・和歌に詠まれた季節の景物から、自然についての考えを深めることができる教材を用意しました。(第4号) ・「歌合」のように古典和歌を読み比べる活動を通して、伝統的な言語文化に親しむことができる教材を用意しました。(第5号)	→38～48ページ →49～50ページ
	5 日記を読む	・他者との共生や周囲の人への愛情など、人間の営みについて考えることができる教材を用意しました。(第3号) ・自らを省みる作者の態度から、自律について考えることができる教材を用意しました。(第2号)	→52～55ページ →56～60ページ
	6 軍記物語を味わう	・厳しい状況の中にある登場人物たちの姿を通し、人間の生き方について考えることのできる教材を用意しました。(第3号)	→62～68ページ
	7 近世の紀行	・自然の景観と人間の営みについて描いた教材を用意しました。(第4号)	→70～76ページ
	ご当地キャラクターと古典	・地名やご当地キャラクターを取り上げ、郷土を愛する心について理解を深められる教材を用意しました。(第5号)	→77～78ページ
古文編 Ⅱ部	1 随筆を味わう	・自然や人為に対する作者の的確な表現に触れ、豊かな情操を培うことのできる教材を用意しました。(第1号)	→80～86ページ
	2 物語を楽しむ	・他者との共生や周囲の人への愛情など、人間の営みについて考えることのできる教材を用意しました。(第3号)	→92～97、98～100ページ
	3 歴史物語を読む	・登場人物の言動を通して、個人を尊重し、能力を伸ばすことについて考えることのできる教材を用意しました。(第2号)	→102～108ページ
	4 歌話を読む	・古典における和歌の位置づけと、和歌に対する古人の態度について理解を深められる教材を用意しました。(第1号)	→112～118ページ
	5 物語を味わう	・登場人物の心情の読み取りを通し、豊かな情操を培うことのできる教材を用意しました。(第3号) ・古典作品のより深い理解に資するコラムを用意しました。(第5号)	→120～129ページ →130～132ページ
	6 小説を楽しむ	・登場人物の行動から、自律と勤労について考えることができる教材を用意しました。(第2号)	→134～136ページ
	7 伝承の世界	・我が国の伝統と文化を尊重する態度の育成に資する教材を用意しました。(第5号)	→138～144ページ
	古典芸能への誘い	・現代まで受け継がれてきた古典芸能を紹介し、我が国の伝統と文化について理解や関心を深められる教材を用意しました。(第5号)	→145～152ページ

図書の構成・内容		特に意を用いた点や特色	該当箇所
漢文編 Ⅰ部	1 故事と小話	・人口に膾炙した故事成語の典拠となる教材を用意しました。(第1号) ・中国との関わりについて考えるきっかけとなるコラムを用意しました。(第5号)	→154～159ページ →162ページ
	2 唐詩と文	・名勝や季節の美しさを通じて自然への畏敬の念を学ぶことができる詩を用意しました。(第4号) ・理想的な社会のあり方について考えることができる教材を用意しました。(第3号)	→164～170ページ →173～176ページ
	3 史記を読む	・古代中国の英雄である二人の人物の生き方を通じて、それぞれの人生観に触れることができる教材を用意しました。(第2号)	→178～191ページ
	4 寓話を読む	・人口に膾炙した故事成語の典拠となる教材を用意しました。(第1号) ・職務と責任について考える教材を用意しました。(第2号)	→194～195ページ、 198～202ページ →196～197ページ
	5 三国志の世界	・古代中国の傑出した人物の人間関係や生き方を通じて、信頼関係や誠実さについて考えることができる教材を用意しました。(第2号)	→204～210ページ
漢文編 Ⅱ部	1 小話を読む	・よき社会や政治のあり方について考えるきっかけとなる教材を用意しました。(第3号)	→214～216ページ
	2 古詩を味わう	・人が人を愛すること、恋すること、思いやることについて考えるきっかけとなる詩を用意しました。(第3号)	→222～223、225～ 233ページ
	3 史記を味わう	・登場人物の言動や行動を通じて、生きていくうえで大きな指針となるような教材を用意しました。(第3号)	→236～242ページ
	4 中国の思想	・儒家と道家の思想について代表的な文章を取り上げ、幅広い知識と教養を身につけることができる教材を用意しました。(第1号)	→244～253ページ
	5 日本の漢詩文	・中国との関わりについて学習することができるよう、日本人の作った漢詩や文章を用意しました。(第5号)	→256～262ページ

### 3.上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

- 日常的に読書に親しみ教養を高めるために、『百人一首』についての鑑賞文「小倉百人一首の世界」を教材として採録し、古典作品について述べた現代の文章に興味を持つことができるようにしました。(学校教育法第51条2号)
- 4か所の「言語活動」および各教材の「学習の手引き」において、調査報告・読み比べ・話し合い・課題探究などの活動を取り上げました。(学校教育法第51条3号)

# 編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
28-36	高等学校	国語	古典B	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教 科 書 名		
2 東書	古B 329	新編古典B		

## 1.編修上特に意を用いた点や特色

①**目標**…古典としての古文と漢文を読む能力を養うとともに、ものの見方、感じ方、考え方を広くし、古典についての理解や関心を深めることによって人生を豊かにする態度を育てるという「目標」に示された能力を養うため、学習が効率的・有機的に行えるように配慮しました。

### ②内容

#### (1)

**ア**：語句の意味、用法および文の構造を理解することに資するよう、教材には必要に応じて注を付しました。また、各教材において「古文重要語句」「助字・句法」を取り上げ、それらを附録にまとめて示し、確認できるようにしました。

**イ**：各教材末に設けた「学習の手引き」において、文章構成や展開に関する設問を示しました。

**ウ**：古文編の随筆・日記・歌話单元、漢文編の思想・文单元をはじめとして、古人のものの見方や感じ方、考え方に触れ、自己の考えを豊かにすることができるよう配慮して教材を選定・採録しました。

**エ**：古文編では上代から近世まで幅広い教材を採録し、漢文編では散文、韻文ともに多様な形式の教材を用意し、それぞれの作品の特色と価値について考えることができるようにしました。

**オ**：古文編と漢文編との相互の関連を図り、我が国と中国の言語文化的な交流が理解できるようにしました。古文編では、古典や歴史に関わる「ご当地キャラクター」を取り上げ、我が国の文化について理解を深められるようにしました。漢文編では、『遠思楼詩鈔』『日本外史』などの日本漢文や、近代以降の漢詩文を含めて採録しました。

#### (2)

**ア～エ**：「言語活動1～4」を設け、それぞれ課題を一つに絞ることで、そこで行う言語活動の目的と意義を明確にし、能動的な学習ができるようにしました。

③**内容の取扱い**…「古典B」の「4 内容の取扱い」および「各科目にわたる指導計画の作成と内容の取扱い」の「2 内容の取扱いについての事項」に示された事項に配慮し、教材を選定しました。古典に関連する近代以降の文章としては、『百人一首』についての鑑賞文「小倉百人一首の世界」を採録しました。

## 2.対照表

単元	教材名	(1)指導事項との対応					(2)言語活動例との対応				頁
		ア	イ	ウ	エ	オ	ア	イ	ウ	エ	
<b>古文編 I部</b>											
1 説話に親しむ	小野篁, 広才のこと	○	○		○						10
	大江山の歌	○	○		○						12
	袴垂, 保昌にあふこと	○	○		○						14
2 物語を読む	竹取物語	○	○		○						18
	■古文の窓1 月と暦, そして古典					○					26
3 随筆を読む	徒然草	○	○	○	○						28
	[言語]1			○				○			30
	■古文の窓2 兼好法師, こんな一面も			○		○					32
4 和歌の世界	小倉百人一首の世界	○	○	○	○	○				○	38
	[言語]2 和歌を読み比べる ——討論会形式の「歌合」			○	○	○			○		49
5 日記を読む	土佐日記	○	○	○	○	○					52
	更級日記	○	○	○	○						56
6 軍記物語を 味わう	平家物語	○	○	○	○						62
	■古文の窓3 悪七兵衛景清					○					68
7 近世の紀行	奥の細道	○	○	○	○	○					70
	ご当地キャラクターと古典					○					77
<b>古文編 II部</b>											
1 随筆を味わう	枕草子	○	○	○	○	○					80
	方丈記	○	○	○	○						87
	[言語]3 「ありがたい」と「ありがたし」	○					○	○			90
2 物語を楽しむ	伊勢物語	○	○	○	○						92
	大和物語	○	○	○	○						98
3 歴史物語を 読む	大鏡	○	○	○	○						102
	[言語]4 道真伝説を調べる			○		○				○	109
4 歌話を読む	袋草紙	○	○	○	○						112
	古今著聞集	○	○	○	○						114
	無名抄	○	○	○	○						117
5 物語を味わう	源氏物語	○	○	○	○						120
	■古文の窓4 その後の若紫					○					130

	■古文の窓5 『源氏物語』の広がり				○	○													131
6小説を楽しむ	世間胸算用	○	○		○														134
7伝承の世界	古事記	○	○	○	○	○													138
	■古文の窓6 草なぎの剣の来歴																		144
	古典芸能への誘い																		145
<b>漢文編 I 部</b>																			
1故事と小話	小話一五編	○	○		○														154
	■漢文の窓1 故事成語																		162
2唐詩と文	唐詩一九首	○	○	○	○														164
	文一二編	○	○	○	○														171
3史記を読む	項羽と劉邦	○	○	○	○														178
	■漢文の窓2 捲土重来				○	○													192
4寓話を読む	寓話一五編	○	○	○	○	○													194
5三国志の世界	十八史略	○	○	○	○	○													204
	■漢文の窓3 三国志				○	○													212
<b>漢文編 II 部</b>																			
1小話を読む	小話一三編	○	○	○	○														214
2古詩を味わう	古体詩一五首	○	○	○	○	○													222
3史記を味わう	廉頗と藺相如	○	○	○	○														236
4中国の思想	儒家と道家	○	○	○	○														244
	■漢文の窓4 儒家と道家				○	○													254
5日本の漢詩文	詩一三首	○	○	○	○	○													256
	信玄と謙信	○	○		○	○													259